

留萌農業改良普及センター外部評価報告書

留萌振興局産業振興部農務課
留萌農業改良普及センター

留萌農業改良普及センターの普及指導活動を効率的・効果的に展開し、今後の普及活動に活かすことを目的に、外部の有識者や専門家による評価を実施したので、概要を報告する。

1 日時及び場所

- (1) 日時 令和4年7月12日(火) 10時～12時
- (2) 場所 JAるもい本所 2階 会議室

2 出席評価員

職 種	所 属
先進的農業者	るもい指導農業士・農業士会
先進的農業者・女性農業者	るもい指導農業士・農業士会
学識経験者	道立遠別農業高等学校
民間企業・農業者	(株)フィードアシスト遠別

3 評価対象課題

留萌農業改良普及センターで実施している3課題について各担当者から報告し、意見徴収し、評価した。

今回の評価対象課題は、次のとおり。

(1) 重点課題

ゆとりある豊かな地域農業の確立(羽幌町)

(2) 地域課題

TMRセンター利用農家の生産性向上(天塩町)

(3) 広域推進事業

青年農業者組織の活性化(留萌管内全域)

4 評価方法

(1) 評価

パワーポイントを使用して各担当から具体的に説明を行い、評価表で評価を受けた。評価は、課題の設定、対象・地域との連携、活動方法など4項目に、総合評価を加えた全5項目を5段階【5点（非常に優れている）、4点（優れている）、3点（妥当である）、2点（改善が必要）、1点（特に改善が必要）】で行った。

(2) 活動に対する意見要望等

評価と併せて、地域の農業・普及活動について評価員との意見交換を行った。

5 評価結果

(1) 評価の概要

各課題に対する評価は、一部の課題、項目で3点（妥当である）と評価されたが、4点（優れている）～5点（非常に優れている）とする評価が多く、概ね高い評価を得ることができ、活動は概ね理解されたと考えられる。

また、各課題への意見等の他に、今後の留萌管内の農業、普及活動への期待を込めた意見が出された。

(2) 評価の詳細

①重点課題

地域の課題・ビジョン・活動目標の明確化	対象地域との共通認識・合意形成	農業者・地域のニーズと波及効果	活動方法	総合評価
4. 5	4. 3	4. 8	4. 0	4. 5

※評価員4名の平均点

【意見、感想、回答】

- ・留萌管内は水稻直播栽培に着手しているのか。
→ 留萌管内では20年近くやっているがなかなか定着できなかった。直播に取り組めば労働力の不足を改善できる目論見で3年前から重点地区で取り組んでいる。
- ・実際に直播で栽培した場合の収量は、今が最高値なのか。
→ 先進的に取り組んでいる空知では移植と同じくらいの収量を獲っている生産者が多くなっている。やり方によっては移植並に収量が獲れるということで取り組んでいる。
- ・緑肥と堆肥の効果について、この地区では緑肥と堆肥については過去にやったことが無かった地区なのか。
→ 畑作物に緑肥や堆肥を入れる習慣はあまり無かった。近隣に酪農家はいるが堆肥との交換はしていなかった。この場合（重点地区）はT農場の豚の堆肥を入れて取組を進めている。緑肥については、畑作の収量を上げていく考えの中で少し景観的にもひまわりがあったら楽しいんじゃないかという形で取り組んでいる。

②地域課題

地域の課題・ビジョン ・活動目標の明確化	対象地域との共通 認識・合意形成	農業者・地域のニーズ と波及効果	活動方法	総合評価
4. 8	4. 3	4. 8	4. 3	5. 0

※評価員4名の平均点

【意見、感想、回答】

- ・換気扇工事はいつ行ったのか。
- 令和3年6月上旬。

- ・対象のTMRセンターは設立して間もないということで指導に入ったと思うが、他のTMRセンターも上手く稼働しているとは限らない。こんな成功例があるなら、綺麗なほ場になるよう、他のTMRセンターも周って指導いただけたら嬉しい。
→ 了解した。
- ・デントコーンの除草剤（の効果）は衝撃的でした。雑草のない綺麗なデントコーン畑を初めてみた。逆に雑草の発生をおさえない方が不思議。

③広域推進事業

地域の課題・ビジョン ・活動目標の明確化	対象地域との共通 認識・合意形成	農業者・地域のニーズ と波及効果	活動方法	総合評価
4. 8	4. 5	5. 0	4. 8	5. 0

※評価員4名の平均点

【意見、感想】

- ・ファーマーズトークは生徒にとっても良い刺激となっている。昔は自分から新しいことに取り組む人がいたが、今は減ってしまった。もう少し試行錯誤をしてくれたら嬉しいという生徒の父母の声を思い出した。
- ・（今の学生は）あまり勉強が得意じゃない子もいるし、大人しい子が多い。また最近の子は自己肯定感が低い子が多く、人と交流しない一つの原因になっているのではないかと思う。なので高校生にとっても頑張っている地域の若者の姿は、偉い農業者が講演に来るよりも良い刺激になっている。
- ・ファーマーズトークの出会いがきっかけで、生徒がいちごをやってみたいと言い出した（強い関心を示した）。小規模だが（校内の）水稻の空いたハウスを利用して今やっている。
- ・若者の活動は、（地域や今後の農業にとって）非常に大切だし、頑張ってもらいたい。

(3) 意見交換

【意見、回答】

- ・ TMRセンターの話がおもしろかった。雑草の対策を見ていると畑作分野の方が得意だと思うので、畑作農家とコラボ（酪農家に畑作の技術をプラス）とかがあれば、なお、おもしろいと思う。
 - ・ 留萌管内のTMRセンターは他の先進地に比べると遅れているように感じる。なぜ地域によって格差や遅れが生まれてしまうのか。何が原因なのか深掘りしていくと今後の普及や教育の改善に繋がっていくのではないかと思う。
 - ・ 若者の活動について、大人しく表舞台に出てこない人達をどのように自信を持たせ、どのようにして表舞台に引っ張り出すのかを考えたら良いと思う。
 - ・ 生徒21名中9名が農業関係に就職・進学した。留萌・宗谷管内からの農業の求人がほとんどこない。他管内からは沢山求人票がくる。留萌・宗谷管内に求人が、ほとんどこないのは個人農家が多く、なかなか人を雇うことができない状況。共同で一步進み法人経営で会社を建てれば、もっと従業員を雇う受け皿ができるので、生徒も就職しやすくなると思う。生徒も学校近くの農業法人でアルバイトをしたり、愛着が湧いているのに求人がこない所以他管内に流れてしまっているのが現状。
 - ・ ここ数年、普及センターとの距離があった。巡回指導も良いが、これをやりたいなど、普及センターには聴いてみたいという存在で、つねにあって欲しい。農業者が、聴きたいときに担当がいなくても、（ネットワークなどを使って）情報をもらえるような居場所であって欲しい。
- 普及センターの最大の強みは、技術の蓄積、全道の横のつながり、歴史的な縦のつながりが武器と考えている。インターネットなどから多くの情報が流れているがそれが正しいかなどを見極めるのに普及センターを使っていたらと考えている。

(4) 特に評価できる内容や改善すべき内容、意見、感想

- ・ 基本的な事や物事の真意を的確にとらえ、よく普及にあたられていると感じた。
- ・ 地道な努力になると思いますが、（農業者や地域の関係者と）対話を大切にしながら、引き続き頑張ってください。
- ・ 今後、畑作・畜産の交流、情報交換、勉強会等を開催をお願いしたい。

6 今後の対応

今回の懇談会で、いただいたご意見は、今後の活動や次年度の普及計画に反映していきます。